

田んぼでは、カエルの大合唱が聞こえて来ます。

市長選挙と市議会議員選挙が行われる 復興の遅れ一現職には厳しい審判

4月13日投票で、気仙沼市の市長選挙と市議会議員選挙がありました。市長選挙は無投票で、現職の菅原茂市長が再選されました。市議選は定数が6人減って24議席となり、26人が立候補をして少数激戦でした。

今回の選挙は、3・11から初めての選挙でした。復興の遅れに対して、有権者の厳しい審判が下りました。結果は、新人4人が全員当選し、元職と現職が落選しました。政党別では、社民党2人、みんなの党1人、日本共産党1人、公明党1人、無所属19人が当選しました。

私は、今川さん（無所属）・守屋さん（無所属）・秋山さん（日本共産党）とは、仕事で顔見知りです。秋山さんの関係者と話す機会がありました。

「市議選は、今までは政党よりも地域ごとの選挙だった。しかし、今回は1万人以上が仮設住宅等で避難生活をしているので、被災者に支持を訴えた。

共産党は、3・11以後直ぐにボランティア活動をした。気仙沼市には、北海道の共産党の後援会から何十回と支援に来てくれた。また、義援金と一緒に、ジャガイモやトウモロコシ等の農産物が大量に届けられた（夕張メロンは無かったとのこと）。それらの農産物や、衣類や、義援金で買った米や日用品を、避難所や仮設住宅で、1軒1軒回って届けた。他の政党のボランティアとは1回も会わなかった。

仮設住宅でアンケートを取って、要求について、県議や国会議員と一緒に運動をした。その結果、仮設住宅で、お風呂の追い焚きや、空調を1部屋から2部屋に取り付けることができた。被災者の国民健康保険の医療費無料が、宮城県では去年の4月から廃止され、3割負担になったが、この4月から所得制限はあるが、医療費無料化が復活した。また、仮設住宅から引っ越す時に、テレビや洗濯機・冷蔵庫等の電化製品を持ち出せることになった。

全ての候補者が“復興を早く”と言うだけだったが、女川原発の再稼働反対やJRの鉄路での復旧・消費税増税反対も訴えた。選挙中に被災者に電話をすると、「(被災した)あの時は、共産党には本当にお世話になりました」と涙ぐんで話してくれる人もいた。仮設住宅で演説をすると、必ず何人かの人が家から出てきて、話しを聞いてくれた。」

市議会議員選挙の選挙結果（定数24人の内上位5人）

1位	きくたあつし（みんなの党・新）	2,219票
2位	今川 悟（無所属・民主党支持・新）	1,834票
3位	守屋 守武（無所属・現）	1,820票
4位	秋山ゼンジロー（日本共産党・現）	1,810票
5位	村上すすむ（公明党・現）	1,636票

【市長選挙と市議会議員選挙の公設掲示板—全ての候補者が、“復興を早く！”】



【候補者の第一声—地域ぐるみで聞く人達】

